

平成 28 年 9 月 20 日

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 阪口 克彦  
(JASDAQ・コード 2321)  
問合せ先 執行役員財務担当 五十嵐 達哉  
電話 03-3568-7007

## 株式会社 AWESOME JAPAN の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月 12 日付で発表いたしました新経営方針に基づき、新規事業への展開を目的に、M&A等を積極的に活用することとしております。その第一歩として、当社のデジタル郵便事業等の強化を目的に、平成 28 年 4 月 26 日付で株式会社筆まめ（以下、「筆まめ社」という。）の全ての株式を取得し、子会社化しており、現在双方のシナジー創出への対応を含めて順調に事業展開を進めております。

当社は、本日、当社取締役会において、次なるM&Aとして、当社グループの「コミュニケーション・プラットフォームの提供」や「ネットとリアル融合」における海外事業展開を加速することを目的に、本日付で株式会社 AWESOME JAPAN（以下、「AWESOME JAPAN 社」という。）の発行済株式の 66.17%の株式を取得する株式譲渡契約を同社株主との間で締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

本M&Aに伴い、日本企業の海外進出支援（クールジャパン事業）を得意とする AWESOME JAPAN 社のリソースを最大限に活用することにより、当社グループのベトナム拠点も活用した更なる海外での事業展開の機会を当社グループにもたらすことと考えております。

### 1. 株式の取得（子会社化）の理由

#### (1) 背景及び理由

当社は、平成 28 年 2 月 12 日付のOakキャピタル株式会社を割当先とする「第三者割当により発行される株式及び第9回新株予約権の募集に関するお知らせ」及び「新経営方針について」で発表したとおり、調達した資金を活用して「コミュニケーション・プラットフォームの提供」及び「ネットとリアル融合」の2つの新たな展開を中核事業として事業規模を拡大し、その中で積極的にM&A等を活用して事業展開を加速させることを新たな経営方針としております。

今回の AWESOME JAPAN 社の子会社化は、今後ソフトフロントホールディングスグループが、グローバル戦略を推進していく上で非常に重要な一手になるとともに、本年 5 月に発表した中期経営計画の達成に向けた人材面での強化につながると考えております。

#### (2) AWESOME JAPAN 社概要

AWESOME JAPAN 社は、平成 25 年 11 月よりクールジャパン事業を行っており、特にアニメ、ゲーム、漫画などクールジャパン・コンテンツのローカライズ、プロモーションを強みとしております。また、インターネットを活用した資金調達手法として脚光を浴びているクラウドファンディングにおいては、平成 27 年 7 月に、ビデオゲーム「シェンムー3」のKickstarterプロジェクトのチームメンバーとして、約1ヶ月間で633万ドルを調達、2つのギネス記録を樹立するなど、世界的に大成功を収めました。本年6月からはDMM.com社と提携し、コンテンツに限らずモノづくり全般までサポート範囲を拡大した「DMM Starter」をスタートし、成長が見込まれる越境EC（国際的なネット取引）代行にも着手しています。

#### (3) AWESOME JAPAN 社役員概要

代表取締役社長の金野太一氏は、平成 25 年まで日本最大級のディストリビューター企業である株式会社光通信において、財務部門、広報・IR部門を経た後、ゼネラルマネジャーとして数々の新規事業立ち上げを行ってきた人物です。AWESOME JAPAN（海外進出支援事業）の他にも、本年5月には格安SIM・スマホサービスである「ロケットモバイル」の立ち上げを成功させるなど、様々な実績を残しています。これらの実績から、金野太一氏にはAWESOME JAPAN社の更なる事業拡大に加えて、当社グループの事業企画などにも参画して頂くことを考えております。

また、取締役の土永和博氏は、東京大学大学院修了後、同じく株式会社光通信に入社し、平成 25 年 11 月より AWESOME JAPAN 社の立ち上げに参画しております。海外進出支援を行う上で必要となるデータ収集から分析、ローカライズチームのマネジメントまで幅広く担当しており、今後ますます重要度が高まるであろうグローバル人材の採用・育成を得意としております。その他にも英語を中心とするネイティブ・スピーカーで編成されたチームを有しているなど、非常に優秀な人材が集まっています。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社 AWESOME JAPAN		
(2) 所 在 地	東京都台東区東上野二丁目 18 番 7 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金野 太一		
(4) 事 業 内 容	海外進出支援事業(クールジャパン事業) ①Kickstarter プロジェクト立上げ支援サービス、②海外プロモーション、 ③ローカライズ化(翻訳)、④リサーチ・調査、⑤販売網の開拓・構築		
(5) 資 本 金	100 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成 25 年 11 月 1 日		
(7) 大株主及び持株比率	有限会社光パワー 52.94% 金野 太一 28.67% 眞下 弘和 13.23% 土永 和博 5.14%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (注)			
	決算期	平成 26 年 10 月期	平成 27 年 10 月期
純 資 産		0 百万円	3 百万円
総 資 産		5 百万円	8 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		816 円	22,680 円
売 上 高		11 百万円	31 百万円
営 業 利 益		▲32 百万円	3 百万円
経 常 利 益		▲32 百万円	3 百万円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		▲32 百万円	2 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		▲241,096 円	21,865 円
1 株 当 たり 配 当 金		0 円	0 円

(注) 平成 25 年 11 月 1 日の設立であるため、最近 2 年間の経営成績及び財政状態を記載しております。

### 3. 株式取得の相手先の概要

#### ① 有限会社光パワー

(1) 名 称	有限会社光パワー	
(2) 所 在 地	東京都港区南麻布三丁目 19 番 23 号	
(3) 代表者の役職・氏名	取締役 重田 康光	
(4) 事 業 内 容	不動産関連事業、電力関連事業、有価証券の運用等	
(5) 資 本 金	3,000 千円	
(6) 設 立 年 月 日	平成3年6月28日	
(7) 純 資 産	非公開(注)	
(8) 総 資 産	非公開(注)	
(9) 大株主及び持株比率	非公開(注)	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません。

(注) 該当事項の情報提供を依頼しましたが、当該法人から情報提供して頂けなかったため、記載しておりません。

#### ② 眞下 弘和

(1) 氏 名	眞下 弘和
(2) 住 所	Singapore
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	当社と当該個人との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況(予定)

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0%)
(2) 取 得 株 式 数	90株 (議決権の数: 90個)
(3) 取 得 価 額	AWESOME JAPAN 社の普通株式 132,300 千円 アドバイザー費用等(概算額) 27,300 千円 合計(概算額) 159,600 千円 (注)
(4) 異動後の所有株式数	90株 (議決権の数: 90個) (議決権所有割合: 66.17%)

(注) 平成28年2月12日付『第三者割当により発行される株式及び第9回新株予約権の募集に関するお知らせ』の「3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な用途 ②本新株予約権」に記載したとおり、第9回新株予約権の発行及び行使により得た資金を「コミュニケーション・プラットフォームの提供」事業領域及び「ネットとリアルとの融合」事業領域の2つの事業領域に係るM&A案件として充当するものであります。

### 5. 日 程

(1) 株式譲渡契約に係る 取締役会決議日	平成28年9月20日
(2) 株式譲渡契約締結日	平成28年9月20日
(3) 株式譲渡実行日	平成28年9月20日

6. 今後の見通し

本件の今期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、明らかになり次第、適宜開示してまいります。

以 上

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	2,500~3,700 百万円	—	30~200 百万円	—
前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	346 百万円	△452 百万円	△468 百万円	△491 百万円